

「プラス 50」の魅力づくり

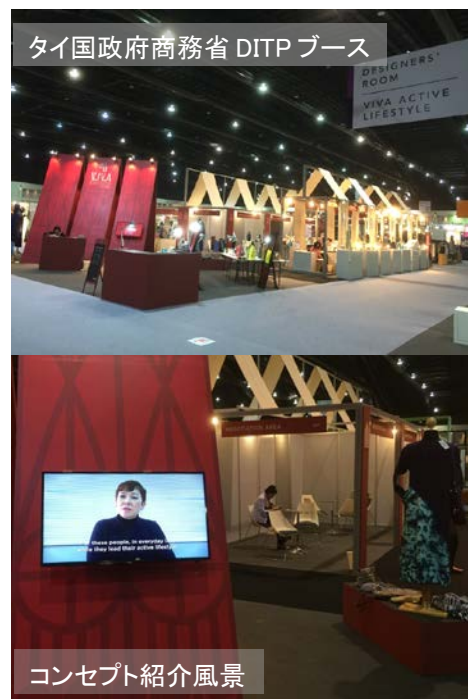


株式会社クリエイティブ・ワイズ 代表取締役 三宅曜子

3月9日～13日までタイバンコクの25,000㎡ある、エキシビションセンターIMPACT会場で、「バンコク国際ファッションフェア」&「バンコク国際皮革製品フェア2016」が行われた。

私はここ数年、タイ国政府商務省の国際貿易振興局（DITP）からの依頼で、現地中小企業の商品開発と販路開拓のプロデュースを行っており、隔月程度、タイに行き、コンサルティングを行っている。その一つの成果として、指導した企業の展示商談会が行われた。

会場はタイの各地から多くの企業や国の機関のブースが設けられているが、私の担当はタイ国政府商務省の国際貿易振興局（DITP）ブースである。



「VIVA アクティブライフスタイル+50」というタイトルで22社が出展。

そのすべての企業の商品開発をずっと行ってきたが、そのコンセプトに則り、このブースイメージからレイアウト、ブース内に設けられたモニターで解説も行った。出展企業すべてが協力してくださり、素晴らしいブースイメージと商品が出来上がった。

又、連日の会場内イベントとして大がかりなファッションショーやメイクアップデモン
 ストレーション、スカーフの結び方なども
 行う事になり、楽屋での着せ付けからヘア
 メイクアップアーティストへの指導、リハ
 ーサルでのウォーキングも指導し、最終的
 に私も舞台にも上がり、フィナーレを行う
 事になった。

モデルはすべて 40 歳以上の女性、その
 中で 2 人はパリコレのモデルも務めたプ
 ロがいたものの、後のモデルは練習を積ん
 だアマチュアだ。



「VIVA アクティブ+50」の背景パネル



スカーフの結び方レッスン

彼女たちが着るウェアからアクセサリ、
 スカーフ類、帽子、バッグまで、すべてず
 っと指導してきた企業の商品である。
 アマチュアモデルではあったものの、皆今
 回のコンセプトを十分に理解した上で舞
 台での提案をしてくれた。多分、事前に自
 宅などでだいぶ練習をしてくれていたと
 思われる。



ファッションショーのモデルさん達と

■日本人が意識したい、美しい姿勢と歩き方

成果は上々。皆モデルは初めてであるにも関わらず、堂々としたウォーキングが出来ている。

私は以前ミスユニバースの国際大会出場者や、国内の博覧会コンパニオンなどにウォーキングやポージング、笑顔の作りかたなどの指導を行ってきたが、断然タイの人たちの方が呑み込みも早く、ウォーキングもスムーズにできる。

これはなぜか考えてみると、日本人はやはり正座をすること、また歩き方の歩幅が小さいこと、腰の位置が低く、前後に扁平な体つきのため、パンツスタイルが似合わないということも影響するのだと思った。

最近の若い人たちも歩き方があまり美しくなく、ペタペタとした歩きをする人が多いが、これは国際社会に出るとすぐにわかる。

非常に興味深かったのが、タイ人のアパレル関係者が「日本人はすぐにわかる。なぜなら、身体全体が平坦だから、凹凸が少ない。着物を着る身体になっているのか？」と聞かれたことだ。日本人はこのところ着物を着る人が少ないが、体型的に見てすぐにわかるようだ。

特に、今回のテーマである「+50」、40歳代後半から60歳程度の日本人は、立ち方や歩き方、身のこなしを再度見直す必要があると思う。



ファッションショー風景

■日本と海外の企業とのコラボレーションで広がる世界

ところで、商品開発に関しては、驚くのが、「日本のパーツ類は素晴らしい」ということが、再確認されたことだ。

特にファスナーやアクセサリの留め金など、小さなものほど、その良さが際立っている。ネックレスにループを配し、そのループにアクセサリ的な装飾が施されているものをつくっている企業のループはHOYAのものが使われており、これではなければグレードが高いものがないと言う。

他にもバッグを作っているタイの企業があるが、レ



日本のレンズを使用した
アクセサリループ

ース使いのフォーマルバッグのレース生地から、細かな部分にちりばめられたビーズなどは日本製。社長曰く、世界中のビーズの中で広島「トーホーグラスビーズ」が最高だといい、今回もすべてそれを使っていた。

広島企業の商品がタイのフォーマルバッグに使われているのはとてもうれしかった。と同時に、日本企業はもっと海外の企業と積極的にコラボレーションすることで、更に大きく伸びが期待できるだけでなく、どのような企業がどのような使い方をしているのかを知ることも大切ではないかと思う。

私がサポートしている日本の製造業は、問屋やバイヤーを通じて世界に商品やパーツを出しているため、知らない場合が多い。

どこでどのような企業が、どのような使い方をしているのか、これを知ることでお互いに、さらに大きな発展に結びつくものと思われる。

私も微力ながら、日本の企業と海外の企業のパイプ役として、外注や委託、原材料提供というだけでなく、お互いに販売できる環境づくりに貢献したいと思っている。



日本の素材やビーズを使用した
フォーマルバッグ

マーケティングコンサルタントとして、中小企業支援及び指導、商業活性化事業、まちづくり事業等、顧客のニーズを的確に捉えた市場開発とアプローチ手法等、幅広い分野におけるマーケティング全般のアドバイスを全国各地で手掛ける。また、平成19年度より地域資源活用事業の政策審議委員、国会での参考人をはじめ、全国で地域資源を活用した事業推進、農工商連携事業、JAPANブランドプロデューサーなど幅広く活躍中。

- 経済産業省地域中小企業サポーター
- 同、伝統的産業工芸品産地プロデューサー
- 中小企業基盤整備機構経営支援アドバイザー
- 同、地域ブランドアドバイザー
- 内閣官房 地域活性化伝道師
- 同、クールジャパン地域プロデューサー
- 広島県総合計画審議会委員 他